

高校日本史プリント（過去問類似）

日本史B（旧課程の過去問） No.5

名前

得点

/11

問1 室町時代の1428年、将軍の代替わりなどを契機として、近江の運送業者の蜂起から始まり、徳政（債務破棄）を求めて京都やその周辺地域に波及した、日本史上最初の大規模な土一揆は何か。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 播磨の土一揆 2. 嘉吉の土一揆 3. 文正の土一揆 4. 正長の土一揆

問2 幕末期、藩主の鍋島直正のもとで近代化政策を推進し、日本で初めて実用的な反射炉を築造して鉄製大砲の鑄造に成功するなど、軍事力を急速に高めて明治維新期に雄藩として台頭した藩はどこか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 佐賀藩 2. 長州藩 3. 薩摩藩 4. 土佐藩

問3 江戸時代、各地で特産物としての繊維産業が発達した。大和国で生産された高級な晒麻と並び、独特のしわ（シボ）を持つことで知られ、現在の新潟県にあたる地域で盛んに生産された麻織物の名称を答えよ。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 越後縮 2. 西陣織 3. 結城紬 4. 桐生織

問4 室町時代から戦国時代にかけて、浄土真宗（一向宗）の寺院や道場を中心に、周囲に濠や土塁を巡らせて形成された自衛的・自治的な都市が各地に現れた。富田林などに代表される、このような都市の形態を何と呼ぶか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 城下町 2. 宿場町 3. 寺内町 4. 門前町

問5 江戸時代初期、徳川家康が朱印状による海外渡航を奨励したことで、東南アジア各地に日本町が形成された。このうち、アユタヤ（シャム）の王室に重用され、現地で傭兵隊長などとして活躍した人物は誰か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 山田長政 2. 田中勝介 3. 支倉常長 4. 浜田弥兵衛

問6 高度経済成長期の日本では、主要な燃料資源が石炭から石油へと急速に移行し、これに伴って国内の炭鉱が次々と閉山に追い込まれるなど、産業構造に劇的な変化が生じた。この一連の燃料転換を何と呼ぶか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. マイカーブーム 2. レジャーブーム 3. エネルギー革命 4. ドーナツ化現象

問7 大正から昭和期にかけて、東北帝国大学などで金属工学の研究を進め、1917年に当時世界最強の永久磁石合金を発明して、日本の材料科学の発展に大きく貢献した学者は誰か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 高峰譲吉 2. 本多光太郎 3. 鈴木梅太郎 4. 北里柴三郎

問8 8世紀前半から半ばにかけて在位し、社会的不安を仏教の力によって鎮めようとして国分寺建立の詔や東大寺大仏造立の詔を出したほか、土地制度の改革として墾田永年私財法を制定した天皇は誰か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 孝謙天皇 2. 聖武天皇 3. 元正天皇 4. 元明天皇

問9 19世紀初頭の関東地方では、無宿人や博徒の横行による治安悪化が深刻化していた。これに対処するため、江戸幕府は勘定奉行の配下に新たな役職を設け、国境を越えた広域的な取締りを行わせた。のちにこの役職の活動を補完するため、領主の支配の圏を超えて近隣の村々を結合させた「寄場組合」が結成されることとなったが、このとき幕府が設置した治安維持のための役職は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 人足寄場差図役 2. 火付盗賊改役 3. 関東取締出役 4. 人足寄場取締役

問10 室町時代における日本と朝鮮半島との交流について述べた次の文の空欄【ア】に入る、朝鮮から日本へもたらされた仏教經典の総称として最も適当なものを答えよ。「南北朝合一の前後、九州探題に任じられた今川了俊は、倭寇によって連行された高麗や朝鮮の被虜人（捕虜）を送還し、その見返りとして【ア】の招来を求めた。その後、日朝貿易が本格化すると、【ア】は朝鮮から日本へもたらされる重要な輸出品となった。」（2006年 全国公立入試 類似）

1. 大蔵経 2. 高麗版 3. 儒教書 4. 高麗紙

問11 18世紀初頭の宝永年間に、キリスト教布教のために屋久島に潜入し、捕らえられて江戸に送られたイタリア人宣教師は誰か。新井白石による尋問を受け、その対話は『西洋紀聞』や『采覧異言』の執筆に大きな影響を与えた。（2004年 全国公立入試 類似）

1. ケンペル 2. シーボルト 3. シドッチ 4. フロイス

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 4 正長の土一揆	室町時代の1428年（正長元年）に、近江の馬借の蜂起をきっかけに発生した土一揆。徳政を要求して京都の土倉や酒屋、寺院などを襲撃し、私徳政が行われるなど近畿一帯に大きな影響を与えた。
問2	答え 1 佐賀藩	幕末の肥前国に位置したこの藩は、長崎警備の負担を契機に軍事改革を進めた。藩主の鍋島直正は西洋の科学技術を積極的に導入し、1850年に日本初の実用的な金属溶解炉を築造して鉄製大砲の製造に成功した。この技術力と軍事力を背景に、のちに薩摩藩・長州藩・土佐藩とともに「薩長土肥」と呼ばれる雄藩の一角を占め、明治維新において重要な役割を果たすこととなった。
問3	答え 1 越後縮	江戸時代には農業や手工業の発達に伴い、各地で特色ある特産品が生産された。麻織物の分野では、高級な晒麻として知られる大和国の奈良晒や、独特のしわを持つ越後国の越後縮などが代表的な特産品として流通した。
問4	答え 3 寺内町	浄土真宗（一向宗）の寺院や道場を中心に、周囲に濠や土塁を巡らせて形成された自衛的・自治的な都市は寺内町と呼ばれる。河内国の富田林や摂津国の石山、大和国の今井などがその代表例である。これに対し、伊勢湾に臨む桑名などは港町として発達した。
問5	答え 1 山田長政	徳川家康が朱印船貿易を奨励したことで、東南アジア各地に日本町が形成された。駿河出身の人物である山田長政はシャム（タイ）のアユタヤに渡り、日本人町の頭領として活躍したほか、シャム王室に重用されて官位を授けられた。
問6	答え 3 エネルギー革命	高度経済成長期におけるエネルギー源の主役交代を指す。安価な輸入石油の普及により、石炭から石油への移行が急速に進んだ。これにより石炭産業は衰退し、三池炭鉱争議などの激しい労働争議も発生した。
問7	答え 2 本多光太郎	KS磁石鋼を発明したのは本多光太郎である。彼は東北帝国大学金属材料研究所の初代所長を務め、日本の金属物理学・材料科学の基礎を築いた。なお、同時期に活躍した日本の科学者としては、超短波用アンテナ（八木・宇田アンテナ）を開発した八木秀次や、原子構造の研究で知られる長岡半太郎などが挙げられる。
問8	答え 2 聖武天皇	鎮護国家の思想に基づき、国分寺建立の詔や東大寺大仏造立の詔を出した。また、その治世には墾田永年私財法が制定され、土地制度が大きく転換した。養老律令の施行は、この天皇の退位後である757年（孝謙天皇の時代）に行われた。
問9	答え 3 関東取締出役	江戸時代後期の関東地方では、細分化された領地（私領・旗本領・幕領など）が複雑に入り組んでおり、無宿人や博徒が領境を越えて逃亡するため、個別の領主による取締りが困難であった。そこで幕府は1805年、国境を越えて広域的な治安維持を行う関東取締出役を設置した。さらに1827年には、この活動を地域社会側から補完・支援させるため、領主の枠を超えて近隣の村々を連合させた寄場組合（改革組合村）を組織させた。
問10	答え 1 大蔵経	九州探題の今川了俊は、倭寇によって拉致された高麗・朝鮮の捕虜を送還する交渉を行い、その見返りとして仏教の経典を網羅した大蔵経（一切経）の招来を求めた。日朝貿易が本格化すると、大蔵経は日本の寺院や守護大名の間で強く求められ、朝鮮からの主要な輸入品となった。
問11	答え 3 シドッチ	1708年、イタリア人宣教師のシドッチは、禁教下の日本にキリスト教を布教するため屋久島に潜入したが、捕らえられて江戸の切支丹屋敷に幽閉された。新井白石は彼を尋問し、その世界地理やキリスト教に関する知識を整理して『西洋紀聞』や『采覧異言』を著した。これにより、幕府の知識層における西洋認識が深まることとなった。